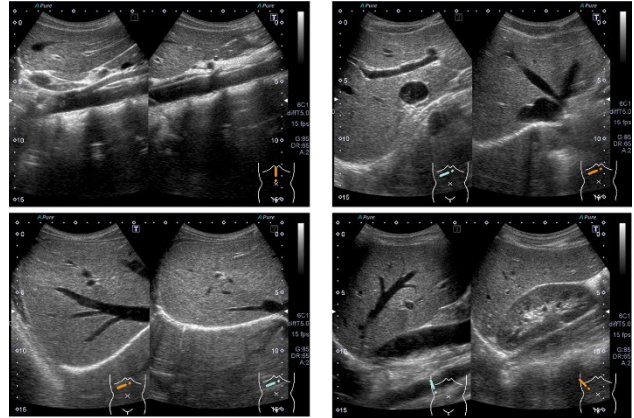


## 超音波検査で肝臓の何がわかるの

### 肝臓の評価：超音波所見

- 大きさ：腫大，萎縮
- 肝縁：鋭角，鈍化
- 表面：平滑・不整（微細，凹凸，波状）
- 実質のエコーパターン：微細均一，粗雑
- 実質のエコーレベル：上昇，低下
- 腫瘍の有無および性状



画像1 肝臓の超音波画像

超音波画像（画像1）を記録し、肝臓の評価を行っています。脂肪肝（画像2）は、肝細胞に脂肪が沈着することで、超音波が散乱反射するために、実質のエコーレベルが上昇（肝臓が白く見える）します。また、肝硬変（画像3）は、肝臓の線維化に伴い、肝臓の形態が変化（肝表面凹凸化）し、実質のエコーパターンは粗雑に描出されます。



画像2 脂肪肝の超音波画像



画像3 肝硬変の超音波画像

最近では、超音波検査のエラストグラフィにて、肝臓の硬さ（線維化）の評価ができるようにもなりました。

超音波検査は、2階（23）生理検査にお越しください。尚、超音波検査結果については検査技師よりお伝え出来ません。主治医の先生より詳細にお聞きください。

《著者紹介》 五嶋 玲子（ごとう れいこ）  
東海大学医学部付属病院  
診療技術部 臨床検査技術科  
生理検査 係長  
臨床検査技師 超音波検査士

